

星屑

VOL. 210
September 92



「ああ、幻の”第5回 九州スターフェスタ”」

(本文 3 ページ)

熊本県民天文台

6月14日と二日

作・泉 彰敏

朝から、どんよりとした「くもり空」であった。この日は、私の所属しているサークルでの事情により、熊大から天文台までのマラソン大会が行われる日であった。朝の空模様を見て、一層、心の中はどんよりとした。

この時期、「昨年の今頃は天文台で、暑く晴れて中で草刈をしてたか。でも、今年は天文台が移転するから、草刈はないだろうなあ。」と思っていた。熊大を出発し、とぼとぼと歩くこと、4時間弱、天文台に到着。そして、今年も草刈があることに気づいた。しかもこの日に、黒島さんが草刈の準備をしているのを見、サークルの先輩の車以外の車を見下しながらだ。

天文台到着後、しばらくの間、体を休めていた。その間、「雨が降って、草刈が中止になればいいが、雨は降らず、草刈は始まる。草を刈り、集め、そして焼く。温かい間に、草はよく焼えた。そもそも草刈作業をしている一方で、焼肉の準備が始まっていた。買出し、大きな青いシートで雨避けの屋根を作っていた。ちなみに、雨避けの屋根は、天文台の屋根と車・もの置き台との間にシートを張ったものである。そして、うちに、雨が降り始め本降りとなり、草刈は中止となった。内心ホッとしたし、焼肉のために体力を残すため、天文台の中に入った。

雨が降る中、焼肉が始まった。「さあ、食べろぞ」という意気込みとともに食べ始めた。雨のため、屋根のシートに水がたまってしまった。そのため、屋根は壊れることはなかった。ものの置き台は倒れかけたけど……。焼肉を食べ始めて、数分後、雨は止くよといつた。今年は、昨年より、人が多かったのだろうか、それとも、肉の量が少なかったのだろうか、なんとも物足りなかった。昨年は、死ぬほど食べたような気がするが……。そのうちに、焼く物がなくなり、食う事よりも飲む事に重点が移った。酒の中には、学生のうちでは、飲めないのではなかと思つていて「アボリオン」も飲めた。今年は、肉よりも酒にありつけた気がする。

二日、一日は、朝のどんよりした空模様がなければ、くそ暑いなか、マラソン、草刈を行ったにちがいない。この事は、感謝しい。どうせなら、朝から、雨を降らせろ。

8/4日5日 星を見る会

天文をやっている者にとてあこがれである千口望遠鏡が藤井畠さんにお会いできり！ というイベントで8/4・5日古曽公園で行はされました。宮本台長が千口賞を受賞された事もあって、わざわざ熊本を目的地に選んでいただけたようです。私たち学生は午日前より県民文化会館の方へ集合したのですが、当日はあいにくの雨模様で、みんな無理だうとうなづくバーベキューの用意へと流れていきました。その後千口望遠鏡のキャラバン隊の方々やお見えになつて、駐車場は千口のシールドは、あらウチ摩といはいにたり、やん千口望遠鏡を見れりという事に現実化したと実感しました。その時私はげなく、本当にげなくおりまうれた人の中に見覚えありある人ヤ…。たしかに「星にAF、たん千口」と本のやべーに、いた藤井さん、写真に面影のある人がいたのです（当然なんですが…）。その日は結局観測できませんでしたのですが、おかげでめだにサインをしていただけない藤井さんからサインはしてもらうや一録に写真はと、ついにたけられ、ビールはりめらわ…。明日晴れる事を祈り開幕いたしました。望計は次の日へ。

翌日は朝から天気でさしく風むきから準備にとりかかりました。テントは城南町の方からお借りして組み立てたりはめな作業です。それに雨模もといひ千口望遠鏡へ鏡と山調整がほしい、私たち熊大天研一年生はかりて見ているところの中の農家のおばあさん達に一体何事をいたずねられ一生懸命説明したのですと帰りまわにかく「それじゃあ公民館のいすをもってきてヨー」と相談されているのをまじめもじめお知合の方や大学してなられたらどうしよう…とおめでたい心配をしてしまいました。けれど一日流れると拘らず300人の人せんられて大成功でした。（おじあさん達も見にこられました。）観測会は費されましたが、土曜日見て11時頃までつづいて、無事おわりたのですべい人々が去り、あとも暗やけの中後でたすけに深寝までつづき、本当に一般の人々に星に親しんでもらえたために、天文台の方は城南町の方から見てキャラバン隊の方と一緒にして無償の努力を惜しきる夢に私は感動していました。そしてキャラバン隊の人々にヒル＝千口望遠鏡が残り、たゞございました。

千口の足跡



☆☆☆ ああ、幻の
第5回 九州スターフェスタ ☆☆☆

by 濱野忠隆

あれは8月7日のp.m. 6:00頃だったろうか、帰宅したところ、中島先生から電話があったとのこと。何かな？ と思って電話してみた。

● ● ●

濱野・・・先生、明日（8日）のスターフェスタの準備か何かあるんですか？

中島先生・スターフェスタは、明日台風が来るけん中止になつたバッテン、そんかわり天文台が危なかつタイ。

濱・・・危なか、って言いますと？

中・・・去年の台風19号の時んごて、望遠鏡の濡れたり、便器の転がったりすと大変だろタイ。今、ギックリ腰で腰の痛かけん、ちょっとばっか加勢してくれんかねえー。

（そういえば、去年の台風の時、観測室の壁が破れて望遠鏡が濡れて動きにくくなつたし、トイレが吹っ飛んで便器が転がって大変な事になったんだよなあ。）

濱・・・そら仕方ん無かですねえ。そんなら今から行きますんで、ちょっとばっかり待つといしてください。

そして、私は電話を切り、天文台へ行った。

濱・・・こんばんわー

中・・・さあ、始めようか。

まずは、屋根（スライディングルーフ）の補強である。

中・・・俺あ腰ん痛かけん、あんたが上って板ば打つけて。

濱・・・は、はい。

（ちなみに、私は高所恐怖症であった。）

”ヒューッ”と悲鳴をあげながらも、何とか板を打ちつけた。

次の作業はトイレの補強である。

中・・・・トイレが風で吹っ飛んだらいかんけん、最初っから
倒してフェンスにくくっとくバイ。

濱・・・・はーい。

中、濱・・ドッコイショ！

あれー？動かない！何かが引っ掛かっているー！
(トイレの中の便器が引っ掛けっていたのであった。)

中・・・・中の便器ば取ってくれんね。

濱・・・・エーッ！

”ここまでできたら仕方が無い”と思いながら、私は素手で便器を取り出し、
トイレを倒し、無事作業が完了した。そして、天文台の中でくつろいだ。

中・・・・便器ば持つなんて滅多にできんことばい。良か経験
になったバイ。

濱・・・・そ、そうですねえ。（・・・グスン）

こうして私は、あのトイレを建てた人、去年台風で飛ばされた時に拾いに行
った中島先生に次いで、3人目の便器持ちの経験者となつたのであった。

次の日、いよいよスターフェスタの日となつたが、中止となり、そのかわり、
晚からビデオの上映会と、大量に余ったスターフェスタオリジナルTシャツの
販売会があった。

ビデオの一作目は、

”中島先生・中尾氏・~~佐~~太郎君の城南町→清和村台風災害レポート”
であった。

まずは、中島邸の窓の外の光景。今にも飛びそうなビニールハウス、大きく揺れる木々、そして、BGMはテレビでオリンピックのシンクロナイズドスイミングをやっているらしく、"剣の舞"で、台風の物凄さをありありと示した。

次は、中島邸を出発し、清和村の朝日小学校に至る行程の光景である。吹き飛んだ看板、濁流あふれる緑川、そしてとどめは清和に入ってからの崖崩れ、路盤陥没と、これでスターフェスタをやったら危なかったろうなあ、といった状態であった。

それにしても、災害評論家中尾氏の解説はリアルだったなあ。

ビデオの二作目は、

映画 "星の王子様 ニューヨークへ行く"

であった。

こちらの方は、ビデオプロジェクター・スクリーン使用で、大画面・サラウンドで楽しんだ。

それにしても、出来ることなら、映画より、満天の星空が見たかったなあ。来年こそはスターフェスタが有って欲しいなあ。

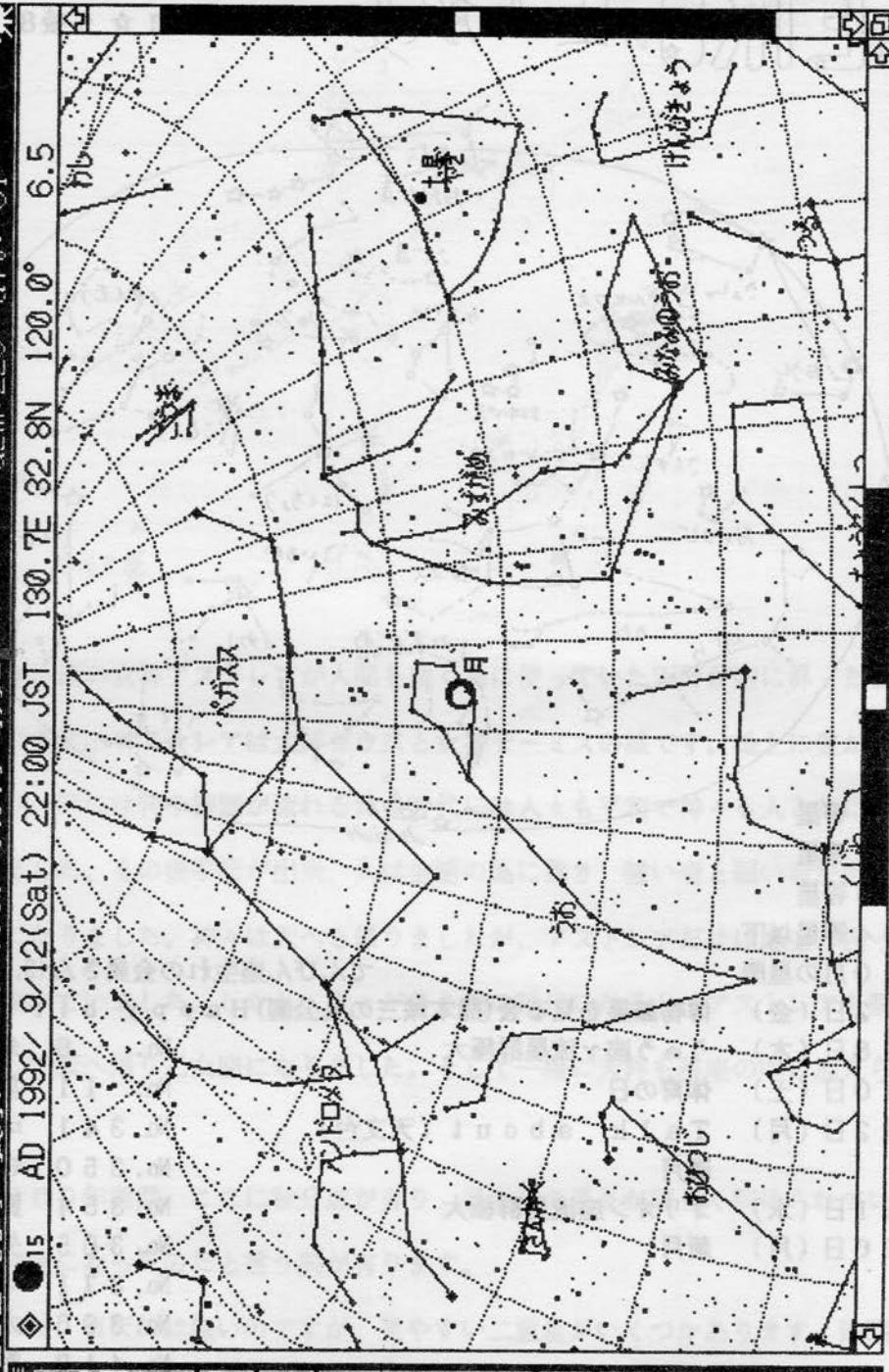
★ お知らせ（新天文台について） ★

8月21日現在、新天文台の設計図・見積りが完成し、また、城南町との借地契約をしたところです。近日中に地鎮祭を実施する予定です。

ただ、41号望遠鏡の購入資金が不足している模様ですので、出来れば募金をして頂けませんか？

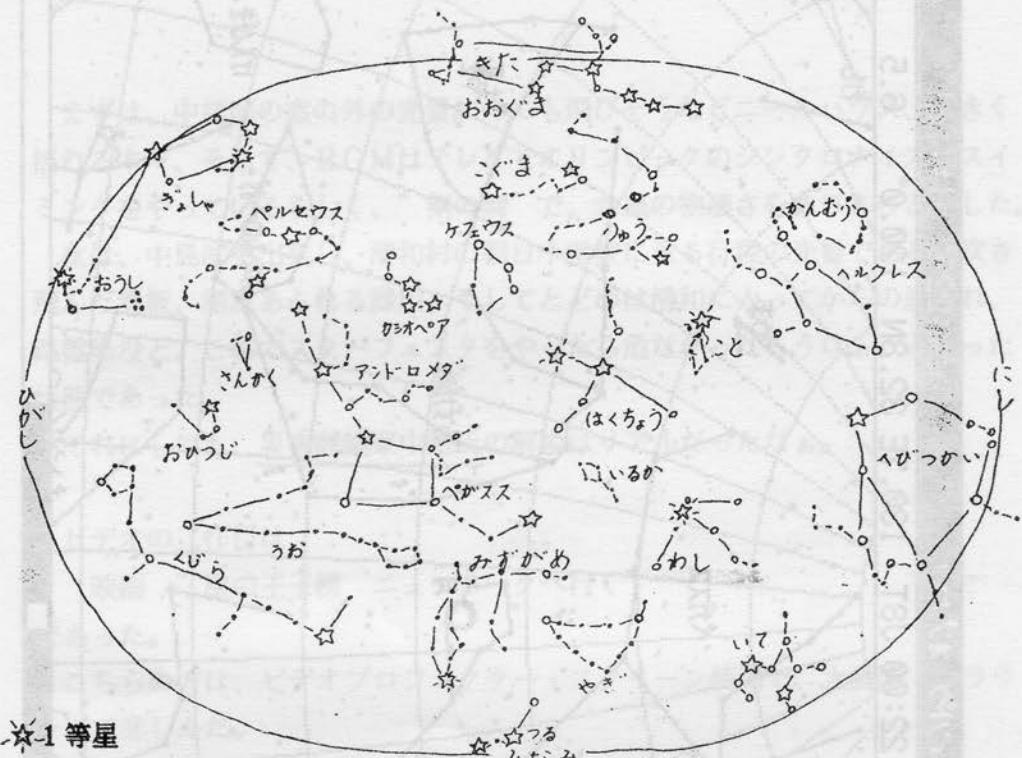
724

設定 視野 表示 ファイド トラク カンペル キヤウ



KEIKO の 星空散歩

10月上旬 ☆ 午後9.00頃
10月下旬 ☆ 午後8.00頃



☆1等星

☆2等星

○3等星

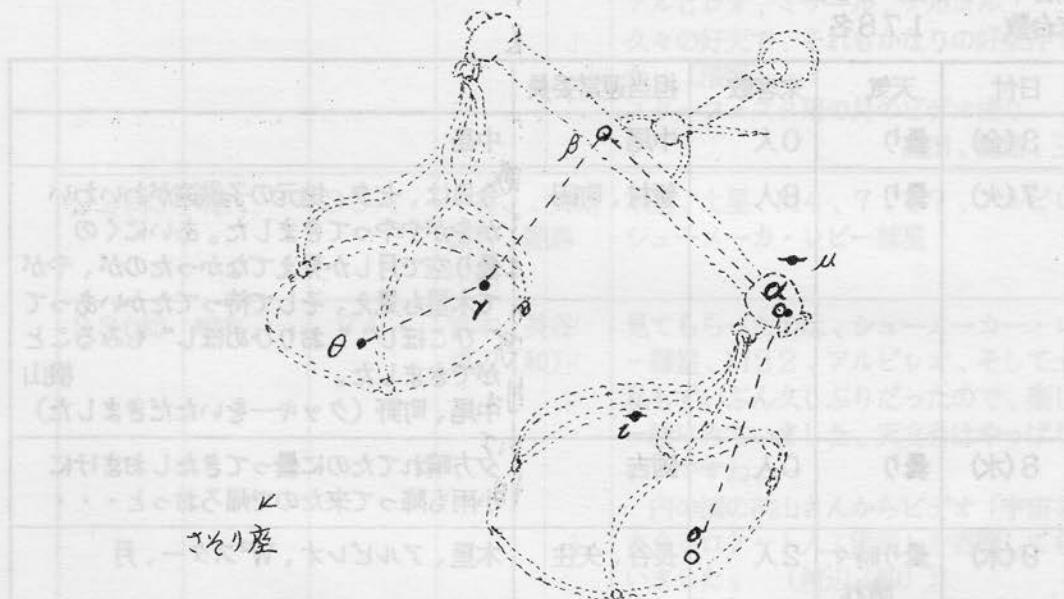
・4等星以下

10月の星曆

		てんびん座生れの会員さん(9.24~10.22)
2日(金)	博物館星を見る会(熊本城三の丸公園)	Happy birthday
8日(木)	りゅう座γ流星群極大	No. 8 永井さん
10日(土)	体育の日	No. 11 宮本さん
12日(月)	Talk about (天文台) 満月	No. 341 中嶋さん No. 350 守岡さん
21日(水)	オリオン座流星群極大	No. 354 野方さん
26日(月)	新月	No. 365 矢野さん No. 371 中満さん No. 398 木村さん No. 418 影山さん No. 427 金坂さん

てんびん座 Libra (Lib)

おとめ座



天秤座は正義の女神アストレアが人間を裁く為に使っていた天秤が空に昇った物とされています。アストレアは大神ゼウスと女神テーミスの娘です。地上に豊かな実りが有り、河には乳や御酒が流れる黄金時代には人々も平和で神々も人と共に暮らしていました。その後季節が出来、人は生活の為に働き、強い者と弱い者が出て銀の時代になりました。神々は天へと帰りましたが、アストレアだけは地上に残って正義を説いていました。しかし、人々が争う銅の時代になると、アストレアも愛想を尽かして天へ帰り乙女座になりました。そして一緒に天秤も星座の中に加えられました。

3～4000年前、ここに秋分点が有り、昼と夜の長さが同じく別けられていたので天秤座になったのだと言う説があります。

天秤座には、M天体は無いのですが、見やすい二重星がいくつかあります。肉眼で判るα星、望遠鏡で低倍率で見えるμ星、γ星等が有ります。

【7月の県民天文台～運営日誌より～】

開台率 18日/31日 = 58%

来台数 178名

日付	天気	来客数	担当運営委員	
3(金)	曇り	0人	中尾	中島
7(火)	曇り	6人	新村、町田	今日は、七夕。地元の子供達がわいわいがやがややってきました。あいにくの曇り空で月しか見てなかつたのが、やがて木星も見え、そして待つてたかいあって“ひこぼし”“おりひめぼし”もみることができました。 横山 中尾、町野（クッキーをいただきました）
8(水)	曇り	0人	国吉	夕方晴れてたのに曇ってきたしおまけに小雨も降って來たので帰ろおっと・・・
9(木)	曇り時々晴れ	2人	長谷、矢住	木星、アルビレオ、W ² スター、月
10(金)	晴れ時々曇り	12人	安達、国吉 中尾、三上	梅雨の晴れ間か？梅雨が明けたのか？大変良い空でした。 月とW ² スターとベガとM57と木星とM13とアルビレオ、おとめ座θ星 艶島、山口Jr (みかみ)
11(土)	曇り時々晴れ	2人	高田	ビデオ撮影の練習 「月面の名所案内」撮影予定（高田） 艶島、新村（写真の焼き付け）
13(月)	雨		Talk About (トークアバウト) ☆スターフェスタ ☆チロ望遠鏡 ☆新天文台設計図完成	艶島、小林J、高田、長谷、国吉 安達、立川、有馬、中尾、中島、濱野
18(土)	雨	0人		新村、濱野
19(日)	曇りのち晴れ	5人	艶島	(熊日の清田記者が)夏休みの趣味についての取材でこられた。いろいろ話しているうちに晴れてしまったので星を見てもらった帰ろうとしているところへ4人組。しぶしぶ屋根をあけて公開を始めたところ、外国からの留学生。土星の輪や月面にピックリしていた。（艶島）

21(火)	晴れ	12人	濱野、永原	M5 7、木星、土星（チタン付き）、M4 アルビレオ、ミザール、アルコル 久々の好天で、それもかなりの好条件でした。（濱野） スターフェスタ用の月のビデオ撮り 高田、艶島、三上
22(水)	晴れ	30人	小林J、安達 国吉、艶島 中尾	木星、土星、M4、7、57、アルビレオ シューメーカ・レビー彗星
23(木)	晴れ	?人	宮本、長谷 渡辺（和）	見てもらったのは、シューメーカー・レビー彗星、M22、アルビレオ、そして土星 私もずいぶん久しぶりだったので、楽しく 一緒にみました。天文台はやっぱり いいですね。 内の浦の前山さんからビデオ「宇宙を さぐるロケット人工衛星」を寄贈してもら いました。（渡辺（和）） 小林J、矢住、高田、高本（芳）
24(金)	快晴？	15人	中尾、小林J 艶島、三上	透明度はあまり良くありませんでしたが、 シーイングが良好でした。（三上）
25(土)	晴れ	25人	中島、安達	星屑発送 小林J、三上
26(日)	晴れ	25人	艶島、艶島 渡辺夫妻	月火水と異なり雲多し M4はっきりとせず、土星も低いため・・ 夏休みにはいり毎日多くのお客さんです みなさん頑張りましょう（甲斐）安達
28(火)	晴れ	17人	町田、中尾 国吉	木星、アルビレオ、W2スター、M57, M27 M7, M22, M17, M16, 土星 M13, ほたると流れ星 中尾さんはレンズ大そうじ（国吉）
29(水)	晴れ	7人	安達、立川 小林J	シューメーカ・レビー彗星、木星、土星 アルビレオ、M5 7、4 かねがきBeer, 矢住ヒヤク、艶島バレー観戦
30(木)	晴れ	約20人	長谷、宮本 矢住、渡辺	木星、M22、M3、M20、M6 (?) 土星、天王星、あれい状星雲、低倍率の 土星がかわいく見えました。お客様方も 感動の連続。いいものは何度もいいで すね（渡辺）

【受領会誌】は来月星屑にまとめて掲載します。

星屑ふらいたあ

残暑まじしく折り合いかがお過ごしてしまひ。

今年は台風の当り年でありまして、7日望遠鏡、8日アストロ、共台風に見舞われてしまひ、とても残念でした。

さて、今回は久々に学生が編集担当でしたが、24月近く具体的内容、最後まで遊びの間ども、この編集作業となり、あれこれ作ったり、多少見にくく点があるかもしれませんかござりますまい。

～ おやむ～

前号に「新天体台の完成予想図は次号に載せます」
とありましたか、今回には間にありませんでした。

(TAKE)

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1992年 9月号 通巻210号

発行所 熊本県民天文台 〒861-41 熊本県下益城郡城南町藤山

☎ 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号

☎ 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 TAKE & HAMA

熊本県民天文台移転計画

熊本県民天文台は、平成5年1月までに現在地の施設を全て解体撤去し、下益城郡城南町塚原・古墳公園に新築移転の予定です。建物は、県及び町の土地開発公社の算定による移転補償費（70%は入金済み）の範囲内で新築します。

建物の外観は「古墳公園にマッチするもの」という文化庁との協議に従い設計し、建築許可もおりましたので、城南町の（資）新産業建設に施工をお願いし、9月12日着工致しました。

天体望遠鏡は、毎夜一般公開に活躍した後、会員による天体観測に使用していますので、もし個人所有であれば一生かかっても使いきれないほど酷使しています。従って傷みがひどく、修理を繰り返し、だましだまし使っているのが現状です。天文台移転に際し、望遠鏡もぜひ更新し、「一般の方にもより美しく星を見て頂きたい」と思います。そして出来れば天体観測に役立つような優れたものであって欲しいのです。一般公開と天体観測の両立を目指す熊本県民天文台は、「良く見え、しかも使い勝手の良い」という条件を満たし、なるべく低価格で入手できる望遠鏡を研究し、既に発注済みです。反射鏡は、日本では屈指の特殊光学研究所の苗村先生に口径41cmを依頼し、望遠鏡はミカゲ光器研究所にお願いしました。その価格は合わせて五百万円強です。

一般公開を目指す天文台には、望遠鏡だけあれば事足りる、というものではありません。望遠鏡を操作し、目的の天体を導入して、みなさんに見てもらしながら解説を加える人手が必要です。熊本県民天文台にはボランティア活動を心がけ、解説のノウハウを持つ会員が大勢いますので、この点は心配ご無用です。

けれどもさらに、みなさんにより良く星を理解して楽しんで頂くためには、高感度ビデオカメラやビデオプロジェクター、それにパソコンや画像解析装置等のハイテク機材は、今や必需品となりました。この購入資金がおよそ五百万円です。この両者を合わせ一千万円程必要となります。

熊本県民天文台 募金計画書

募金額は、¥10,000,000です。

一口 ¥1,000です。何口でも結構です。

募金対象は、城南町有志、並びに広く県民一般
例えば金融機関、民放、交通機関、企業、その他趣旨にご賛同下さる団体・個人となります。

募金期間は、平成4年9月20日～12月20日です。

問い合わせ先 〒860 熊本市琴平1-6-9 台長 宮本幸男
(自宅) Tel 096-364-5256

募金あて先 ☆ 肥後銀行隈庄支店 普通預金口座 1222147
熊本県民天文台 台長 宮本幸男
☆ 郵便振替 熊本 8-24463 熊本県民天文台事務局

すべてボランティア活動による熊本県民天文台は、募金活動に携われる人手が極端に少ないため、真に厚かまじきお願いで恐縮に存じますが、何卒急ぎご検討を賜り、応分のご寄付を仰ぎたく、朗報をお待ち申し上げる次第です。

平成4年9月20日 〒860 熊本市古京町 3-2 熊本市立熊本博物館気付
Tel 096-324-3500 熊本県民天文台事務局 永井剛

趣意書

天高く馬肥ゆる秋、一方灯火親しむの候、はるかなる宇宙に想いを馳せるに格好の季節となりました。熊本県民天文台には星空観察に、毎夜三々五々と、お客様が来られます。天文台会員のボランティアによる星の解説に耳を傾け、星の美しい姿や、不思議なたたずまいを目の辺りに見て、質問が出たり、お客様親子の間に会話が進むこともしばしばです。

昭和57年5月、県民皆様からの絶大なご支援を賜り、天文台が城南町の丘の上にオーブンし、無料の一般公開を始めてから、今年で満10年です。その間天文台を利用して星空を楽しめた方はおよそ4万人に達します。

ところが天文台の所在地を含め、この周辺に工業団地が造成されることになりました。団地が完成し、工場が稼働を始めれば、当然の事ながら星が見えにくくなることは明らかです。これでは困ります。

天文台は、星が良く見える場所への移転を決意し、その場所について城南町当局にご相談しましたところ、移転先として塚原古墳公園に隣接する場所をご推薦下さいました。ここは良く整備された緑の草原の中に古墳が点在しています。夜になれば天の川も淡く見えるほどの、星を見るには格好の地です。道も分かりやすく、市街地周辺の天文台としては、最良の場所であると思います。古代のロマン、それに星空のロマンを味わえる素敵な場所です。

建物の建設には移転補償費を当て、鉄筋コンクリート一部2階建てで新築いたします。けれども肝心の天体望遠鏡は、10年間連夜の使用で傷んでいます。現在、修理を繰り返し使用していますが、移転に際し望遠鏡を更新したいと願っています。天文台をご利用下さる一般の方々にも、もっと美しく星を見て頂け、しかも天体観測に役立つような望遠鏡が欲しいのです。その天体望遠鏡は、現在より一回り大きいもので、口径41センチの予定です。「良く見え、しかも使いやすい」というのが私共の望遠鏡選定基準ですが、加えて、「より楽しんで頂ける天文台」でありたいと願っています。購入したい天体望遠鏡のメイカーも決まりました。

けれども一つ足りないのは、望遠鏡購入資金です。県民天文台会員は出来るだけ自らの拠出金で賄いたいと、鋭意努力を続けていますが、微力で限界があります。

熊本県民天文台の意のある処をお汲み取り頂き、この趣旨にご理解ご賛同を賜り、天体望遠鏡及び付帯設備購入資金として、何卒応分のご寄付をお願い致したく存じます。

宜しくご協力の程お願い申し上げます。

平成四年九月二十日

熊本県民天文台 台長

宮本幸男

熊本県民天文台 後援会長 上田長雄